

科目名 (科目番号)	リハビリテーション概論 (時間割参照)	教員名 深谷隆史	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	講義	オフィスアワー	木3・A310研究室	
授業概要	リハビリテーションを、医学、社会学などを包括した理念として捉えているが、リハビリテーション概論であることを認識してもらう。リハビリテーションが歴史的、地域的にどのように発展したかを考察することにより、リハビリテーションが多くの異業種を包括したリハビリテーションチームとして活動するチームアプローチであることを理解し、理学療法士が専門職としてチームの活動に貢献できる素地を形成する。						
目的・目標	目的:リハビリテーションの歴史や基盤となる考え方を学び、障がい者を支えるリハ専門職について理解する。 目標:①:リハビリテーションの概念・理念、対象領域やリハの過程等を理解できる。 ②:障がい者の全体像を把握できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	リハビリテーションとは	到達目標:歴史的変遷・リハビリテーションの理念について理解する。 学習内容:リハの歴史・リハの定義と目的について学習する。				
	2	疾病と障害	到達目標:疾病と障害について理解する。 学習内容:国際生活機能分類(ICF)について学習する。				
	3	高齢化社会と介護保険	到達目標:高齢化社会と現状と介護保険制度について理解できる。 学習内容:高齢化社会と介護保険制度について学習する。				
	4	多職種連携(1)	到達目標:チーム医療と多職種について理解する。 学習内容:チーム医療と多職種の役割について学習する。				
	5	多職種連携(2)	到達目標:チーム医療と多職種について理解する。 学習内容:チーム医療と多職種の役割について学習する。				
	6	多職種連携(3)	到達目標:チーム医療と多職種について理解する。 学習内容:チーム医療と多職種の役割について学習する。				
	7	リハビリテーションの過程(1)	到達目標:評価とプログラム・リハビリテーションの流れについて理解する。 学習内容:評価・目標設定・治療計画・再評価について学習する。				
	8	リハビリテーションの過程(2)	到達目標:評価とプログラム・リハビリテーションの流れについて理解する。 学習内容:評価・目標設定・治療計画・再評価について学習する。				
	9	リハビリテーションと心理	到達目標:心理アセスメントと心理的機能とその障害を理解する。 学習内容:面接と情報収集・意識、注意、記憶などについて学習する。				
	10	機能障害をもたらす主な疾病(1)	到達目標:身体障害について理解する。 学習内容:視覚・聴覚障害、肢体不自由などについて学習する。				
	11	機能障害をもたらす主な疾病(2)	到達目標:精神障害・知的障害・発達障害について理解する。 学習内容:統合失調症・躁うつ病などを学習する。				
	12	機能の評価	到達目標:機能障害の評価方法とその重要性について理解する。 学習内容:機能障害の評価方法を学習する。				
	13	地域包括ケアシステム	到達目標:地域包括ケアシステムについて理解する。 学習内容:地域包括ケアシステムにかかわっている事例を学習する。				
	14	リハビリテーションを支える社会制度(1)	到達目標:社会保障について理解する。 学習内容:保健医療制度・社会保険制度について学習する。				
	15	リハビリテーションを支える社会制度(2)	到達目標:社会保障について理解する。 学習内容:保健医療制度・社会保険制度について学習する。				
成績評価の方法・基準	対面時:期末試験(100%) オンライン時:課題レポート(100%)						
教科書	授業毎に資料を配布します。						
参考図書	入門リハビリテーション概論 第7版		中村隆一 編		医歯薬出版(株)		
教員からのメッセージ	障がい者の視点に立つような内容で授業を進めていきます。 授業の進度、その他必要に応じて内容を変更することがあります。総合病院、クリニック等で勤務した理学療法士がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを告知します						

科目名 (科目番号)	()	教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								

科目名 (科目番号)		()	教員名		学科等			履修年次	
					曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
					授業形態		オフィスアワー		
授業概要									
目的・目標									
準備学習									
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
21									

	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
成績評価の方法・基準			
教科書			
参考図書			
教員からのメッセージ			

科目名 (科目番号)	()	教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								